

# 平成 26 年度高教研学校図書館部会 備前支部協議会司書部会研修会(第 2 回)

日時：平成 26 年 6 月 17 日(火) 10:00～16:30

会場：岡山県立玉野高等学校 多目的教室 ゆかし

## 1. 開 会

校長挨拶

## 2. 協議事項

### (1) 高教研学校図書館部会研究協議会(2月)の発表について

〈発表テーマ〉

- ・提案があったもの：「読書会実践例の報告」「でーれーBOOKS」「高校図書館横断検索」「ビブリオバトル」

→以上の案のうち、読書会を推す方が複数いたため、読書会について、で決定。

〈発表者〉未定

### (2) 次回おすすめ本テーマ

「医療・看護系に進みたい子におすすめの本」「勉強法の本」「フリーテーマ」の  
3本立てで。

### (3) 次回開催校・内容／「プチ紹介」担当校

- ・次回開催場所：おかやま西川原プラザ ・日程：8月8日(金)10:00～
- ・リーダー：岡山工業高校
- ・内容：(午前)講演会 ※高教研学校図書館部会備前支部協議会第1回研究会と合同  
(午後)「先生や生徒に尋ねられて困ったこと」→事例を思い出しておく。
- ・「プチ紹介」担当校：岡山一宮高校、邑久高校、関西高校

## 3. 諸連絡

### (1) 理事会及び学校司書研究協議会(岡山大会)実行委員会より

- ・大会の参加申込か総会委任状のどちらかを、締切までに必ず提出
- ・係役員打合せ会 7月1日(火)15:00～ 会場：岡山市立岡西公民館

## 4. 学校司書研究協議会(岡山大会)

### (1) プレ発表

- ・発表1：読書会研修の報告(10分) ・発表2：山陽女子高校読書会実践(30分)

・ワークショップ「読書会を企画してみよう」(30分)

## (2) 発表・レジュメについて意見交換

・ワークショップを実施してみて、議論が盛り上がりにくいとの意見があり、内容自体を変更し、読書会を体験する形になった。

## 5. 研修「小論文対策（仮）」(13:00~14:40)

4つの班に分かれ、各校の実践報告・情報交換、悩み相談などを話し合った。

途中で席を移動し、メンバーを変えて再度話し合う「ワールドカフェ」という方式をとった。移動した先の班で話し合った結果を持ち帰り、それぞれの班で共有することができる利点がある。

(反省点)話し合いの区切りがよいところで移動してもらったため、移動のタイミングがずれて、移動先がかたよった。そのため他の3班のうち2班の情報しか得られなかった、という班が出た。

### 1班

#### ●リストの見直しをどうするか

出版社のリストを参考にする。

ずっとコーナーやリストが同じままではよくない。

コーナーに本がきつきつ状態にならない方が良い。

出版社等の小論文参考リストを参考にする時に、絶版のものがあって困る。

#### ●広報はいつするか

6月に進路特集のプリントを配布している。

必読本にはPOPを付けるのも有効である。

高1・高2に対して「なるにはBOOK」「仕事の本」「新書」などの意識付けが必要。

#### ●そもそも進路コーナーにはどういった本が必要か

「仕事の本」や「小論文に関する本」、「大学に関する本」などは必要である。

「赤本」は進路室に担当してもらいたい。

進学校と実業校では集める本も重要度も違う。

#### ●コーナー等の分野分けについて

学部で分ける場合は、司書では把握できない場合が多いのでは・・・

生徒の大多数が同じ進学先である場合は、〇〇大学専用を作ってもいいのではないか。

#### ●進路関係の本は進路課で買って欲しいという意見が図書課から出ている学校がある

進路室へは行かない、行きづらい生徒もいるので、図書室にもコーナーはあるといいのではないか。

進路課との連携や情報収集が必要。

#### ●新書を読まない生徒が多い

国語の授業で新書を読んでまとめる課題をするときに、新書の読み方を教えている学校

もある。

「ちくまプリマー」「サイエンスアイ」など読みやすい新書からすすめて、「岩波新書」「ブルーバックス」を読むときに苦手意識を持たないようにするのも有効ではないか。

## 2班

### ●小論文に対する学校での様子

- ・小論文指導は小論文研究会を先生が行っている。
- ・進路と国語科で小論文を担当しているので、図書館では不要。
- ・字が汚い。
- ・語彙力が乏しい。新書を読まない。新聞の切り抜き指導も徹底できない。新聞切り抜き用の冊子を買ってもいいが、切り抜くことだけで終わり、時事問題の把握まで進んでいない。
- ・関心のないことに向かせることは難しい。
- ・ぎりぎりになってから小論、面接のために調べるという生徒が多い。結果、それまでの経緯とかが分からないままPCにかじりついて時事を調べることに。  
(図書館では、サンデックス〔山陽新聞記事検索〕が使える。新聞1年分保存)
- ・新聞と時事用語では事実を知ることができるがイエス、ノーは分からない。

### ●図書館での様子、やっていること、やること

- ・進路のコーナーと新書の設置場所は近い場所に配置してある。
- ・先生の小論文指導と図書館とは別ルートのアプローチ。
- ・コーナーを作ったりして、ゆる〜く先生にもアピール。進路課VS図書館にならないように連携してきっかけをつくる。
- ・地歴の時間にブックトーク1時間(司書が小論文・作文に役立つ本を紹介)
- ・おすすめの本を先生がリストアップ。コーナーを作って、リストを2年生に配っている。
- ・図書館報に「山崎裕正先生(香川大学准教授)推薦図書一覧」を掲載(結果もよかった)
- ・新書(継続購入)が小論文対策リストの中には多いのでその中からピックアップ。
- ・先生が「この人の本は読んでおこう」という著者でピックアップしている。
- ・リストを配ってからは見る子は増えている。
- ・小論文コーナーに別置する本には色つき透明シールを貼り、通常の書架に戻す時剥がす。
- ・新書について

現状は分類番号順で、生徒から見えにくい、探しにくいという声があった。また、出版社ごとに分かれているため、社ごとの書棚を探さないといけない。

○案1 「教育」など分野ごとに分ける→労力が大きい。また、各社の目録に基づいて分けると統一ができない。

○案2 生活感覚に基づいた分け方をする

○案3 分類を簡素化する(例:141.3→「140」「1」)

- ・図書館から先生に呼びかけ、今授業で教えている内容のコーナーを作ると大変喜ばれた。
- ・授業で図書館を使うことも多い。  
国語表現、探究日本史、世界史〇〇、地歴〇〇、美術、家庭科の〇〇の時間など
- ・県立図書館から授業関連の本をたくさん取り寄せて先生にお知らせすると、図書館からすれば当然のことなのに驚かれ、喜ばれる。
- ・小論文の書き方だけではなく図書館にはいろいろな本があることを知らせる。
- ・リストではきれいな字の書き方関連の本もピックアップしている。

### ●図書館での生徒の質問に対する対応

- ・書き方、方法論の本『勉強法が変わる本』（岩波ジュニア新書）  
とりあえず5章だけでも読もう。
- ・新書が1冊読めない生徒には「はじめに」「目次」「面白そうな章」だけでも読めばいずれは全部が読めるようになる。
- ・『日本の論点』を読もう。

### ●進路課との関係

- ・図書館で入れる本と進路課で入れる本との境目は？
- ・進路課で入れると進路室に置かれる。すると実際生徒が自由に使える環境にあるのか？
- ・図書館として何を置くのかのコンセプトがあればいい。コンセプトを紙に残しておいて後で見返したり、ほかの先生にも見てもらえるようにしておくといよい。  
(司書部会のHPにコンセプト用紙あり)
- ・図書館が生徒に役に立つ本を入れる⇔各課の先生は学校で指導するので不要との考えの先生もいる。⇔先生には聞けないけど、図書館には探しに来れるという生徒への対応として、図書館にも資料があれば
- ・進路課の中で図書館で進路指導の本を充実させてほしいと考えている先生もいる
- ・ジャンルに特化した本が多くあることが分かった
- ・小論文とはという本を探すと小学生向けなど幼稚な感じのものが多いが、ここへ来て高校生向けでも平易な内容のものからあることが分かってよかった。
- ・図書館の小論文コーナー、進路室の小論文コーナー、生徒によってテリトリーが違うので、複数置いてやってもいいのではないか。
- ・2色刷りのとっつきやすい本を入れているが、小論文の紹介で取り上げると5冊ある本が全部貸し出しになることもある・・・いい本は複本での購入もありではないか。  
学級文庫的に教室に本を置いてみても、その後の反応がわかりにくい。

### ●おすすめの本

- ・『理解しやすい政治経済（シグマベスト）』

- …佐藤優のおすすめ。突き詰めると教科書が一番いいのでは？
- ・『池上彰の学べるニュース』…活字も大きくイラストも多用しているが、中身は濃い。
- ・『学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話』より
  - …『日本の論点』の最後を読んで、関係のある部分の賛成と反対を読む。
  - 試験日から逆算して、過去問を解く アウトプットの練習 新書を読むことと同時進行が大切
- ・『14歳からの哲学』…読むのに時間はかかる。小説を読む頭とは違う頭が必要

### 3班

#### ●各校の状況はどうか

- ・コーナーあり、AO入試や推薦などで小論文は必要。学校全体で指導体制が確立している。
- ・必要ではあるが、対策はあまりできていない。コーナー設置あり。
- ・コーナーあるが、本は古く量も少ない。数人必要な生徒がいるが、どこまで図書館で必要か、揃えたらよいか悩み。
- ・小論文コーナーを図書館に、という要望があり、小コーナーを設置したところたいへん喜ばれた。今後はコーナーを充実させるとして、その中の分類方法が悩み。
- ・就職が多いため小論文コーナーは設置なし。

#### ●進路などとタイアップしているか・コーナーをいかに作るか。

- ・進路指導室にも先生の研究用として資料がある（図書館資料ではない）
  - その場合、進路指導室との住み分けはどうするか？
- ・コーナーを作ることも大事だが、それよりも見せ方、知らせ方が大事（広報のタイミングなど）。小論に有効な資料を生徒がちゃんと使えるようにしておくことが大事。
- ・その学校の進学先に応じて、進学率の多い大学・分野に力を入れてコーナーを作ったり対策をしたりする。（岡大が多いなら、岡大に行くためのコーナーなど）すべての大学を考える必要はないのでは。

#### ●他グループを見てすぐやりたいこと、心に残ったこと

- ・新書を読んでPOPを作る（A4、A5程度でまとめる）
- ・「大学入試小論文対策パワーシート」朝日新聞の販売店で。
- ・進路対策本、小論対策本リストなどのサンプルが進路指導室などに送られてきていることも。そういう資料を進路指導室からもらおう！そして先生とも仲良くなろう。
- ・BS日テレ「久米書店」で新書がよく紹介されている。
- ・小論に限らず、先生はひそかに図書館に期待している。展示とか、授業関連でやってみると喜ばれる。

#### 4 班

##### ●悩みや現在の状況

- ・小論文はほとんど使わない。
- ・小論文を必要とする生徒は数名。先生はまず知識を増やすよう（本を読むよう）指導するので、生徒は図書館にやってくる。
- ・小論文、就職対策本は進路指導室にも置いてあるが、図書館にも揃えることで生徒がより利用しやすいようにしている。
- ・先生が新しい本を求めてやってくるが、何が新しいのか司書も悩む。
- ・国語科の先生に尋ねてみたら本を紹介してもらえたが、それが役立った。また書店では購入できない本であったため、聞いてみるものだった。
- ・新しい本を探すときに、その年度のキーワードとなる言葉を入力して、出版されている本を探したり、県立の所蔵本を探したりする。項目は書名でなく、全項目や件名を選ぶといい。

## 6. プチ紹介

玉野光南・和気閑谷・岡山龔

## 7. おすすめ本の紹介「東日本大震災関連本」「フリーテーマ」（14：50～15：20）

リストに掲載されていないおすすめ本※タイトルのみ

##### ●東日本大震災関連本

『救命 東日本大震災、医師たちの奮闘』『ボランティアナースが綴る東日本大震災』  
『「僕のお父さんは東電の社員です』』『心のおくりびと 東日本大震災 復元納棺師』  
『ストーリー311』『ストーリー311 あれから3年』『南三陸から』（vol. 2・vol. 3あり）  
『サムライブルーの料理人 3・11 後の福島から』

##### ●フリーテーマ

『99%の絶望の中に「1%のチャンス」は実る』『一流を育てる 秋山木工の「職人心得」』  
『茂木健一郎の脳がときめく言葉の魔法』『「昨日の疲れ」が抜けなくなったら読む本』  
『捨てずにとっておきたくなるデザインのアイデア』  
『マンガ・アニメで人気の「聖地」をめぐる神社巡礼』  
『街場の共同体論』『センスは知識からはじまる』 など

## 8. 閉 会